



山田 哲朗さん (78)
初子さん (72)

登米町・下町
昭和40年12月入籍

互いに分かり合うことが田満の「コツ」

★結婚当時の思い出は
【哲朗】当時から、かくやま旅館を経営しています。子どもが小さい頃は、忙しくて面倒を見れなかったね。近所の人たちに見てもらったので、とても助かりました。

【初子】豊里町から嫁いできました。実家は農家だったから、嫁ぎ先は農家じゃないところがいいなと思ってたね。2回目会ったときには、もう結婚することに。周りの人が決めたような感じだったね。

★印象深い出来事は
【初子】去年、息子と孫と一緒に東京見物に行ってきた。旅館なので、なかなか遠くに旅行する機会がなくて、初めて行きました。新幹線に乗るのも初めてだったから、楽しかったね。

★現在の楽しみは
【哲朗】挿し木をすること。小さい頃から育て、立派に育っていく姿を見るのが楽しい。あと、孫とけんかすること(笑)

【初子】お客さんと話しをすること。いろんな地域の話を聞けるので楽しいです。

★夫婦円満のコツは
【哲朗】お互いに分かり合うことかな。

【初子】私がおとなしくしていること(笑)

★やりたいこと
【初子】新しくできる北海道新幹線で函館に行つて、新鮮な海産物を食べたいね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

懐かしいふるさと
そして、明日への期待

昨年、市制施行10周年や戦後70年という節目の年でした。私自身80歳になり、今後何年ふるさとへ恩返しができるのか考えさせられます。

東京迫会は、創立30周年を迎えることができました。これは、登米市長や市議会議員、市民の皆さまのご支援・ご協力によるもので厚くお礼申し上げます。

7月26日に長年の念願がかない、東京迫会でふるさと訪問をすることができました。ちょうどこの日は、佐沼夏祭りが開催されていました。さまざまなみこしや山車が練り出され、子どもからお年寄りまで元気に参加していました。

菅原 秀元さん (80)

東京迫会副会長
迫町(八日町)出身



特に、若者によるみこしの競演は迫力満点。熱気に満ちていて見応えがありました。歓迎パーティーでは、地元の食材をふんだんに使った料理がテーブルに並び、絶品のステーキや大好きな酒「澤乃泉」などに舌鼓を打ちました。

また、地元の皆さんと懐かしい思い出や近況を語り合うことができ、大変有意義な時間を過ごせました。夜は花火を見物。きれいな星空に広がる花火は素晴らしく、青春時代を思い出させてくれました。翌日は市内を見学。長沼では、ハスの花が湖面いっぱい咲いており、いい思い出になりました。

しかしながら、今回帰省したことで、不便に思うことがありました。それは、くりこま高原駅からのアクセスが悪いことです。アクセスが良くなれば、観光客や帰省客などが増え、市の活性化につながると思います。また、市役所にレンタル自転車を設置すれば、市内観光もしやすくなるでしょう。

今後も常にふるさとを思い、東京迫会の一員として、登米市の発展を微力ながら応援するとともに、市民皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

おらほの道の駅

道の駅「林林館・森の茶屋」



研修会や展示会にいかがですか 林林館2階フロアをお貸しします

今月は、能谷信駅長にお話を伺いました。

★林林館本館について
林林館本館は、地場産品の展示・販売、住民皆さんの憩いの場として平成4年4月にオープンしました。東和町の木材をふんだんに使用し建築。木のぬくもりが伝わる物産館です。当時東和町は「ウエディングベルの聞こえるまち」をキャッチフレーズに掲げており、上部にはカリヨン(鐘)が設置されています。

1階では「かじかの森工房」で作った江戸独楽、「瑞樹窯」や「夢想同人窯」の2つの窯で焼き上がった陶芸品などを販売しています。瑞樹窯では、



伝統工芸品の江戸独楽



芸術性の高い陶芸品

毎月陶芸教室を開催していますので、詳しくはお問い合わせください。

2階は、研修会や展示会などに使用できます。有料で貸し出していますが、地域の活動など公共性のあるイベントは無料です。

3月7日から31日まで、つるし雛展示会を林林館2階で開催。JA東和女性部つるし雛



【問い合わせ】道の駅「林林館本館」

☎0220(45)1821
東和焼「瑞樹窯」
☎0220(45)1226

俳句・川柳 まちの文芸

★作品募集!
●4月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、2月29日(月)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳
雪こんこ孫がよろこぶ今も昔も
デイの日が楽しみと記す九十三
勝つためと猫だまします横綱や
俳句
松の内猫の居眠る製材所
しなやかに漕ぎ来て八十路宝船
芸能祭終へて安堵の足袋洗ふ

吉田まさよ (迫)
佐々木康子 (米山)
佐々木敬次 (石越)
小野寺和彦 (東和)
春日 悦子 (東和)
千葉サキコ (東和)

日差し満つ開明坂の初景色
七草や水爆報ずる国何処へ
恙なく仏具も磨き年明け
余生なお大志ありけり賀状書く
哀楽を柏手にして年新た
初日の出富士山頂を押しけり
健やかに家族揃いし初日の出
清貧の暮し惚ばむ根深汁

千葉 富子 (東和)
浅野喜代子 (中田)
近藤 譲行 (中田)
高橋武比古 (中田)
山内 晨 (中田)
山内 成子 (中田)
石崎よしの (米山)
大友ふき江 (津山)

応募総数 27 作品